

上田 勉

4月は、別れ・出会い・旅立ちの季節です。避難指示が解除された4自治体、別れ・出会い（帰還する）をする住民は、残念ながら少数です。

浪江町・飯館村・川俣村山木屋地区・富岡町で避難指示解除

■避難指示解除後、1年後に賠償は打切り 避難指示解除と支援の打切りはセット！

◆政府一避難指示解除の基準 1.0mm シーベルト/時から 20.0mm シーベルト./時に緩和をして解除

◆放射線や生活基盤（生業・交通・病院・商店等）が整備していないので、帰還しない住民が多数

◆帰還して、町・村の復興に協力したいと言う住民も少なからずいる

◆これ以上避難指示解除が遅れると、帰還する住民が益々減って、部落・村・町が消滅してしまう。もう待てない一被災地の首長 苦渋の決断で、避難指示解除に同意！

浪江町・飯館村・川俣村山木屋地区は3月31日、富岡町は4月1日に避難指示がそれぞれ解除されました。政府は去年から、避難指示解除の基準を 1.0mm シーベルト./時から 20.0mm シーベルト/時に緩和しました。そして、今までは、避難指示解除準備区域だけを解除していましたが、居住制限区域も解除するようになりました。

政府は、もしかしたら浪江町は、避難指示解除に同意をしないのではないかと、危惧していました。昨年秋に行われた、行政区毎の地元懇談会では、放射線量や生活基盤（生業・交通・病院・商店等）が整備していないので、帰還するのは時期尚早だと言う意見が多数でした。しかし、避難者の立場に立って、政府や東京電力に対して厳しい姿勢をとっていた馬場町長は、これ以上避難指示解除が遅れると、帰還する住民が益々減って、部落や町が消滅してしまう。もう待てない、という苦渋の選択で、避難指示解除に同意しました。

被災者に“寄り添う？” 安倍自公連立政権

* 自主避難者への家賃補助、3月で廃止—「被災地に帰る帰らないは避難者の自己責任。

（文句があれば）裁判でもなんでもやればいいのか」（今村復興大臣）

* 「放射線は 20mm シーベルト/年でも安全」（世耕経済産業大臣）（安全なら世耕大臣自らが家族（子ども含む）と一緒にふくしまで生活してみろ）

* 環境省一被災地の除染はほぼ完了

◇今春解除4町村の住民帰還意向

	避難指示解除日	対象者数（総人口）	帰還する意向の住民の割合
浪江	平成29年3月31日	15,294人(18,424人)	17.5%（28年9月調査）
飯館	平成29年3月31日	5,828人(6,089人)	33.5%（29年1月調査）
川俣町山木屋地区	平成29年3月31日	1,156人(1,156人)	43.9%（28年11月調査）
富岡	平成29年4月1日	9,544人(13,521人)	16.0%（28年8月調査）

【3月31日に避難指示解除—浪江町役場】



【4月1日に避難指示解除—富岡町役場】

